

事業説明会

財務本部長
福永 彰宏

2022年6月10日
古河電気工業株式会社

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

30年のありたい姿と25中計の位置づけ ビジョン2030実現に向けた価値創造プロセス

古河電工グループ理念

現在

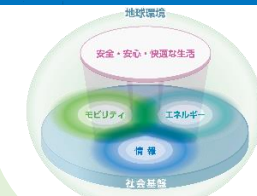
Forward-looking

25年

財務目標
サステナビリティ目標

Backcasting

30年



古河電工グループビジョン2030

古河電工グループ
ビジネスモデルと強み

4つのコア技術※1
特定市場に限定されない
開発力・提案力
お客様からの信頼

資本効率を
意識した
事業の
強化と創出

資本コスト
低減に向けた
経営基盤
の強化

Open, Agile, Innovative

多様なステークホルダーとの
パートナーシップの形成

新しい
ビジネスモデル
強みの強化
例) 知的資産の活用強化

気候変動に配慮した
ビジネス活動の展開

人材・組織実行力の強化

リスク管理強化に向けたガバナンス体制の構築

コーポレートガバナンス/グループガバナンス/サプライチェーンマネジメント/人権・労働慣行

社会課題解決型事業の創出
による飛躍

次世代インフラを支える事業
環境配慮事業

社会課題解決型事業の強化
による成長

情報・エネルギー・モビリティの収益安定化
融合社会への貢献

社会課題

情報

B5G※2社会の実現



エネルギー

カーボンニュートラルの
実現



モビリティ

移動の自由を享受
する次世代インフラ
の実現



新領域

健康寿命延伸の
実現



マルチステークホルダー・
パートナーシップ

サーキュラー・エコノミーの実現



※1：4つのコア技術：メタル、ポリマー、フォトニクス、高周波

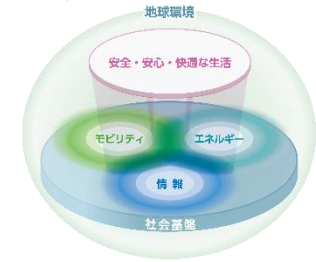
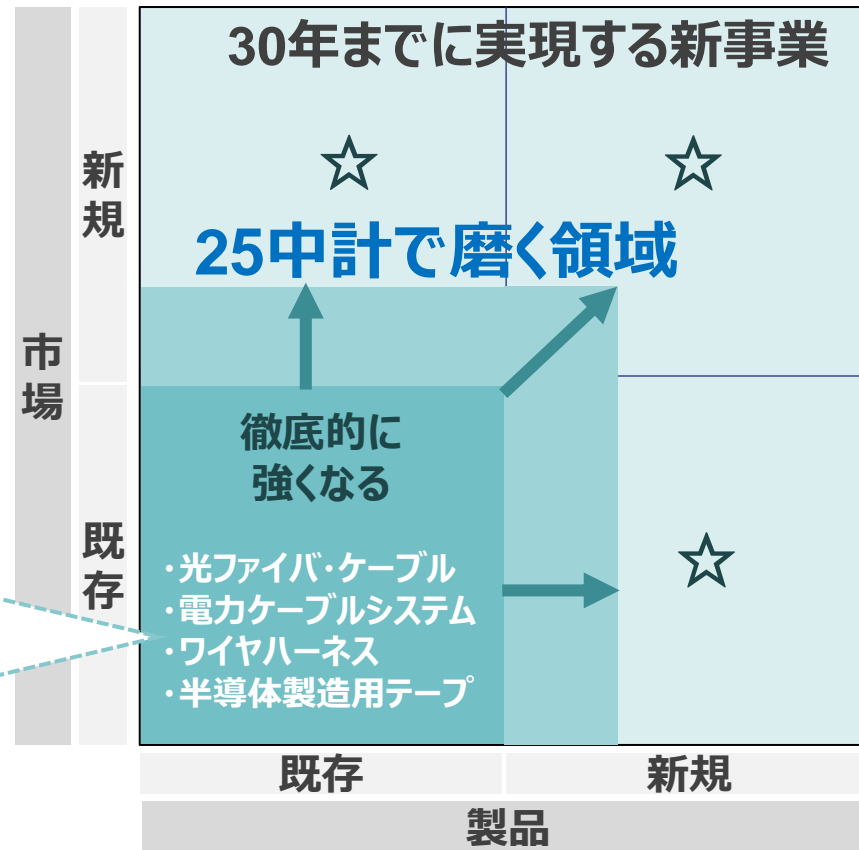
※2：B5G(Beyond 5G)

Forward-looking

25年に向けた資本効率重視による既存事業の収益最大化
30年までに実現する新事業創出に向けた基盤整備

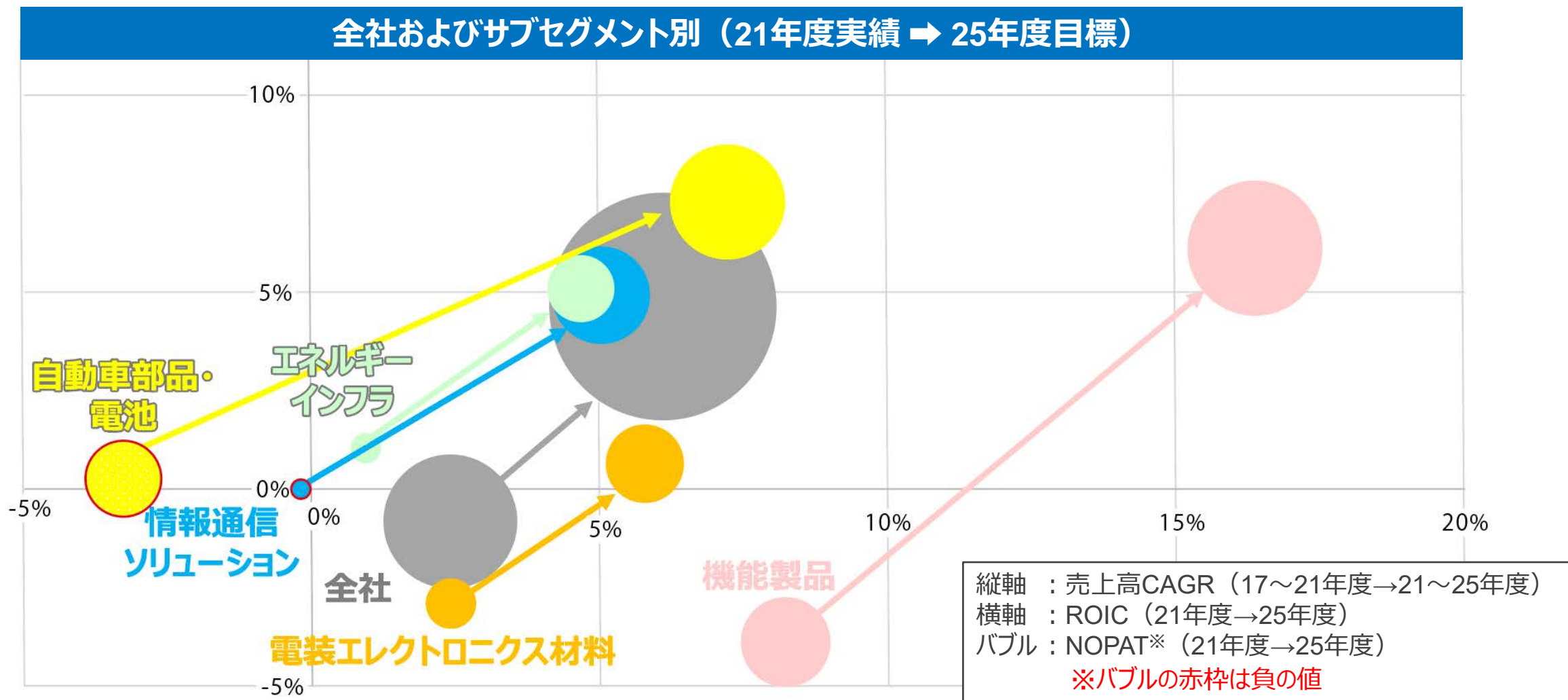
Backcasting 30年

☆ 光るために備える



古河電工グループビジョン2030

着実にポートフォリオ最適化を進め、25年度には全社ROIC6%以上を目指す

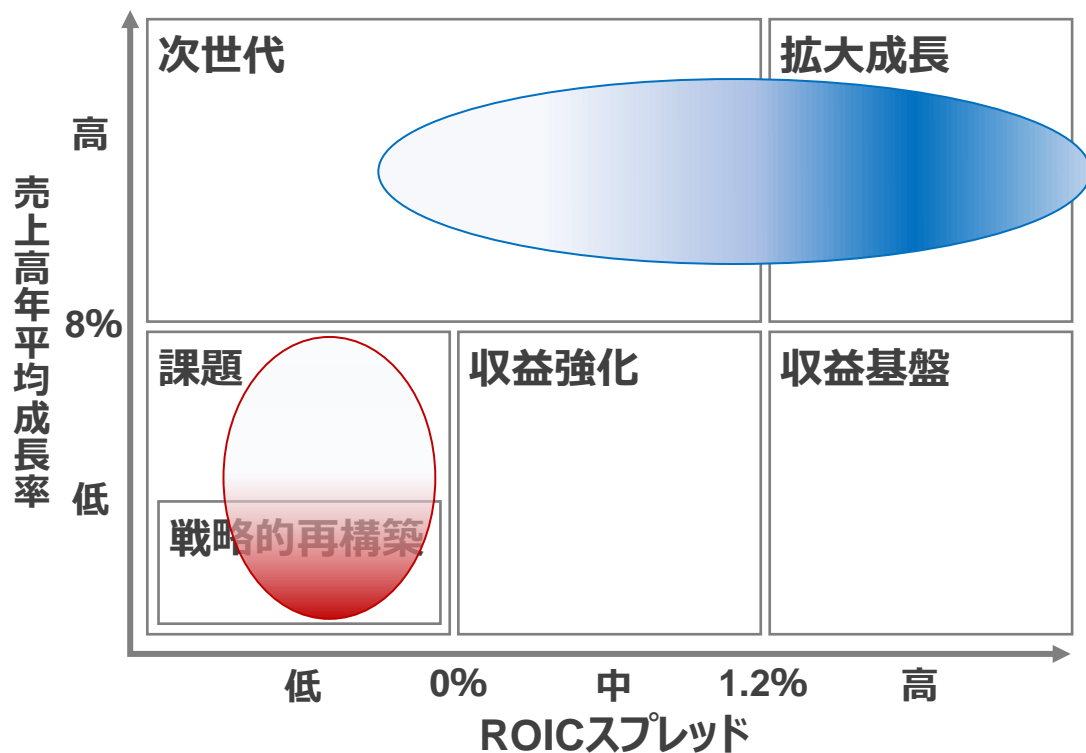


※NOPAT : IFRSに準じ、当期純利益 + 税引後支払利息で算出

事業の位置づけの可視化とそれに即した投資配分の最適化により、資本コストをより意識した経営管理と意思決定プロセスに変革

1. 現状・位置づけの可視化

2. 経営資源（投資）配分の決定

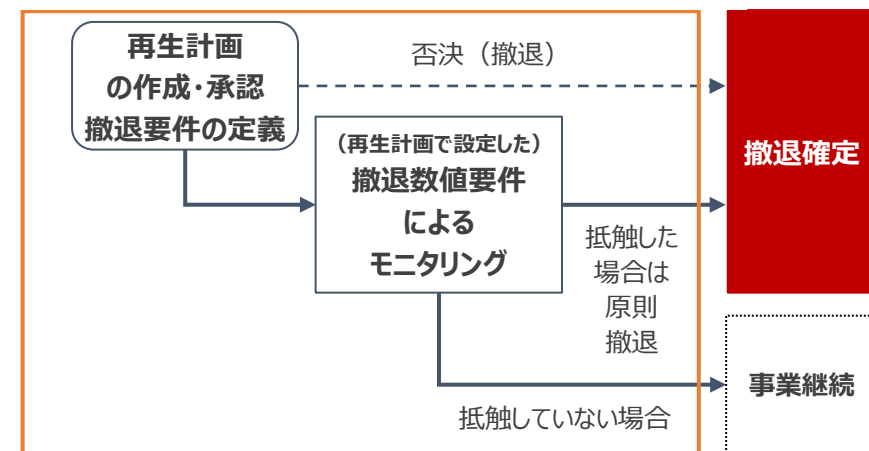


3. 事業ポートフォリオの入れ替え

M&Aを含む成長模索

+ 将来の成長性
+ 当社の競争力
+ 炭素効率性

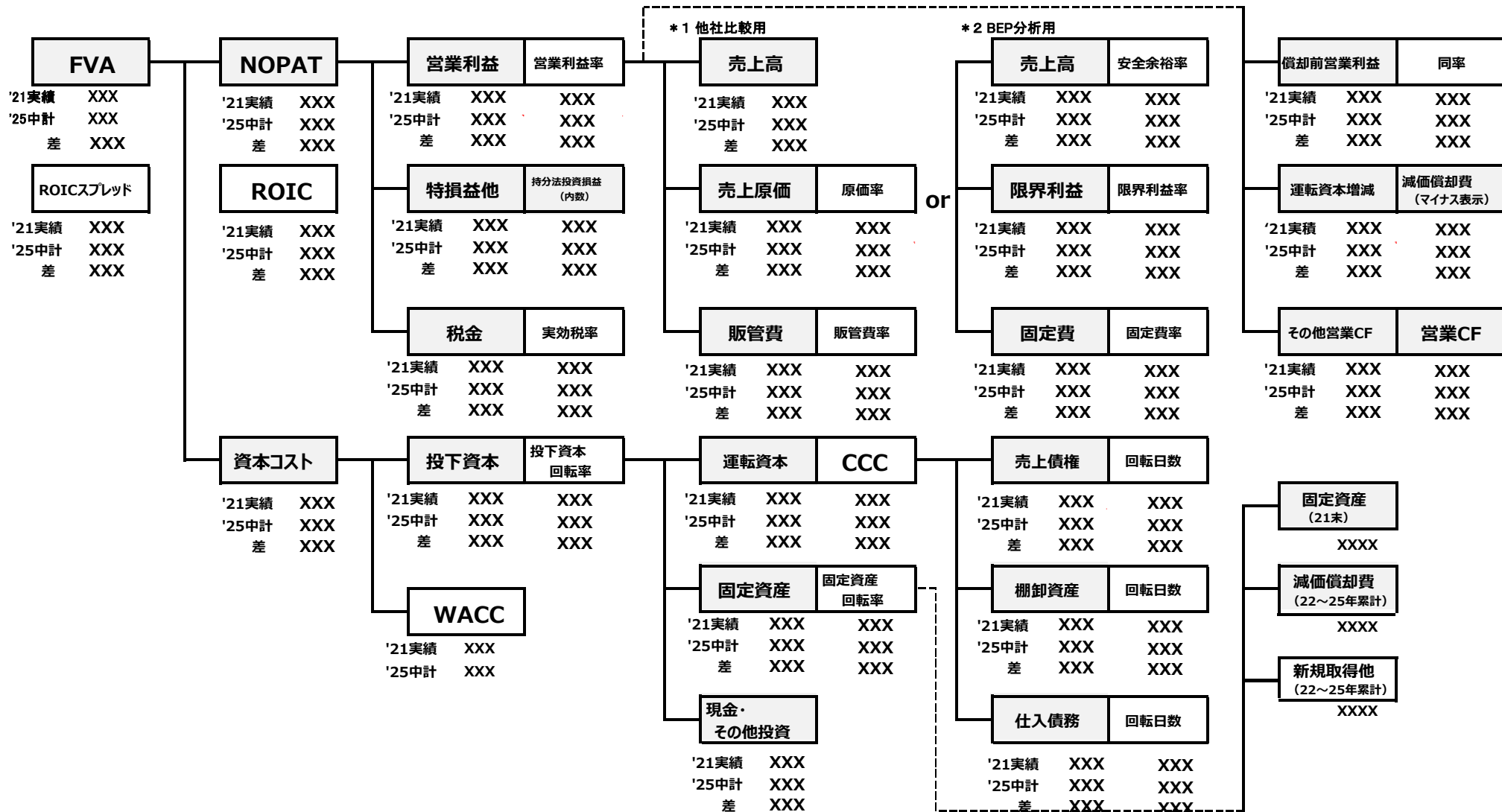
撤退有無を判断



<参考> FVAとROICスプレッドによる財務指標分析

事業ポートフォリオ管理の前提となる事業管理（業績評価・目標管理）においてFVA／ROICツリーによる財務指標分析を実施

古河電工グループ 連結FVAツリー分析（'21実績・'25中計）



	21年度（実績）	22年度（予想）		25年度（目標）
ROIC（税引後）	2.5%※	3%	▶	6%以上
ROE	3.7%	5%	▶	11%以上
Net D/E レシオ	1.0	1.0	▶	0.8以下
自己資本比率	29.8%	30%	▶	35%以上
売上高	9,305億円	1兆500億円	▶	1.1兆円以上
営業利益	114億円	225億円	▶	580億円以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	101億円	140億円	▶	370億円以上
銅建値 平均（円/Kg）	1,136	1,260		1,085
為替 平均（円/米ドル）	112	120		110

※21年度のROIC実績について：21年度決算および25中計発表時の2.0%を2.5%に修正（投下資本の期首期末平均ベースへの修正を含む）

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***